

## 知的財産の成果

## Achievements in Intellectual Property

研究開発戦略を推進する過程で創出された成果を発明の観点から権利化している。その際、事業戦略や研究開発戦略に応じて、コア技術を中心として特許網の構築、重点分野での集中出願、及び事業のグローバル展開を意識した外国出願の強化を行い、技術成果の資産価値の増大を図っている。

日本登録特許件数(2009年)

順位	企業名	日本登録件数
1	パナソニック	5,032
2	ソニー	4,385
3	トヨタ自動車	4,190
4	東芝	3,219
5	キャノン	3,218
6	デンソー	2,932
7	セイコーエプソン	2,928
8	本田技研	2,773
9	リコー	2,680
10	三菱電機	2,587

\* PATOLISを利用した調査結果

米国登録特許件数(2009年)

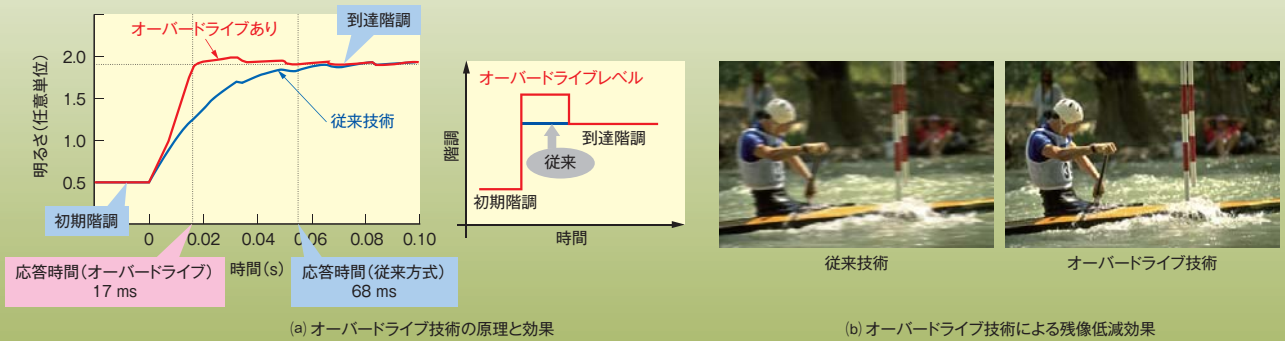
順位	企業名	米国登録件数
1	IBM	4,914
2	三星電子	3,611
3	マイクロソフト	2,906
4	キャノン	2,206
5	パナソニック	1,829
6	東芝	1,696
7	ソニー	1,680
8	インテル	1,537
9	セイコーエプソン	1,330
10	ヒューレット・パッカード	1,273

\*米IFI社データ

(社) 発明協会から、科学技術の向上と産業の発展に功績があったことが認められ、2009年は全国発明表彰で下記の賞を受賞した。

### 【恩賜発明賞】 特許第3167351号 「液晶テレビの高速応答オーバードライブ技術」

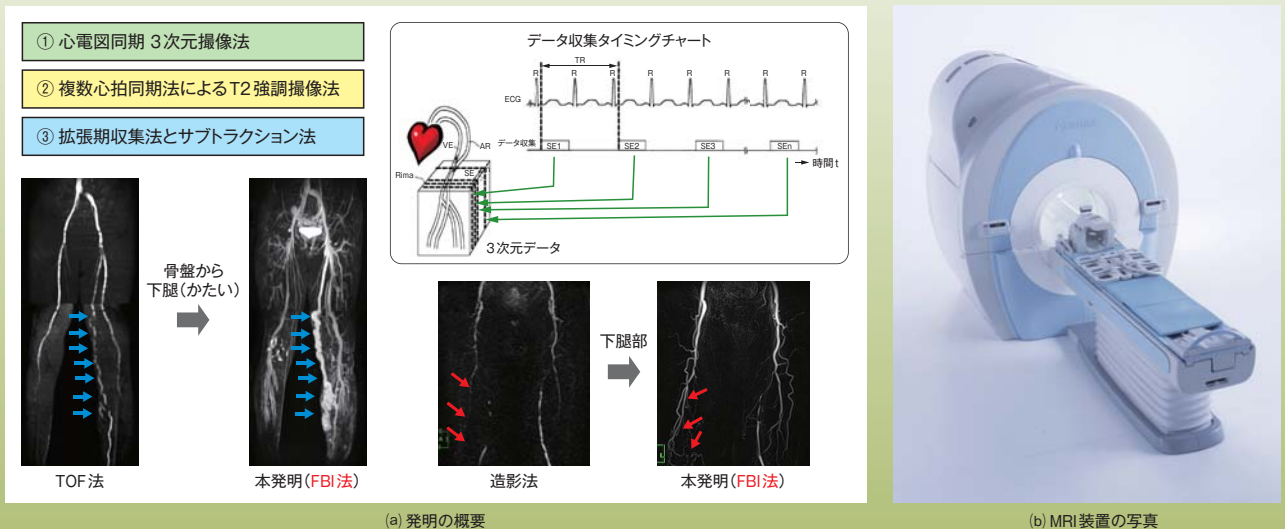
液晶テレビ映像の残像の原因である液晶応答劣化を補償するため、液晶に加える電圧を明るさの変化に応じて一定期間だけ強調するオーバードライブ技術により、中間調(グレー)の応答は従来の4倍以上に高速化(60 Hz駆動で応答時間17 ms以下)され、残像の大幅な低減が可能になった。デファクトスタンダードとして、多くの液晶テレビに搭載され、低消費電力で環境にやさしい液晶テレビの普及に大きく寄与していることが高く評価された。



### 【発明賞】 特許第4090619号 「造影剤を用いずに血管(動静脈, 狭窄, 瘤)を良好に描出できるMRI装置」

FBI (Fresh Blood Imaging) 法という新しい方法で、造影剤を用いずに、末梢血管や狭さく及び瘤(こぶ)など血管の形状や流速によらず良好に描出することができ、更に動静脈を分離して画像化することを可能にした。この発明は、臨床的に極めて有用であり、全世界で急速に普及してきている。

\*東芝メディカルシステムズ(株)と共有



TOF法 : Time-of-Flight  
MRI装置 : 磁気共鳴イメージング装置